

歲入

款	九月末現計予算額	追加更正予算額	最終予算額
競輪事業収入繰越金	749,076,000 4,223,000	50,200,000 —	799,276,000 4,223,000
歳入合計	753,299,000	50,200,000	803,499,000

歲 出

款	九月末現計予算額	追加更正予算額	最終予算額
競輪事業費	695,855,880	41,050,000	736,905,880
諸支出金	57,143,120	9,150,000	66,293,120
予備費	300,000	—	300,000
歳出合計	753,299,000	50,200,000	803,499,000

收入

二、競馬事業
競馬事業費の九分五厘が、算額は四四二、九七五、〇〇〇円で、後期におきまして追加正し

口、収入支出の概況

一、競輪事業
(表11、12参照)

二、競馬事業
(表13、14参照)

さて、この予算の執行状況を申し上げます。(表11、12、13、14のとおりであります。)

以上昭和二十一年度における特別金庫の收支概況をお知らせしたのでありますが、この年度にお

支出

口、
収入支出の概況

(表 13)

三、住民負担の概況

(表 14)

八、昭和二十九年予算の概況

(表 17)

(一) 競 輪 事 業

(表 15)

四、財產、公債及び

(表 19)

ものません。従つてこの税金入りの収納額によつて財政は大きく左右されるのであります。

昭和二十八年年度において本市は一体の位の税金が舊きもの負担になつたかと申しますと（表19）りであります。

のとおりとなります。

さすれば、（表19）の負担額を以て、昭和三十三年三月末までに納付願ひに対して、市民一人当たり平均の約二倍に額は、市民一人当り平均の約二倍に（表20）の負担額に上つてゐるものと見られます。

(表 20)

税 目	徴 收 額	人 口	人口一人当り徴収額	世 帯 数	一世帯当り徴収額
市 民 税	58,185.865	6,979	954	13,234	4.39
固 定 資 産 税	46,994.682	60,979	771	13,234	3.551
そ の 他 諸 税	14,372.097	60,979	236	13,234	1.086
合 計	119,552.644	60,979	1,961	13,234	9.034

最近石油コンロの使用が全国的に急増し、これにともない、石油

当用おしよるも本年一月に於て十二件火災中、四件がガソリン・ポンプの使用によるもの、最も石油・ポンプの故障によるもの一途をとりつゝありませう。又一件の火災に上り三人の乗客者、火傷、若くは下痢の險、嫌な事ではない然るやあります。これらの事故の原因を探究いたしますと、取扱の上で注意警は標準の不備、蓋因となつて居りますので、一般用者におかれましても特に次の諸点に御留意の

●良心的な製品を
求めること

▽幸甚に自ら乗船を防止する設備であり、燃料タンクが無くなり、燃焼しないもの。
(タンク及びポンプなどの台座の上の隙間が干度をとけないこと)

▽開閉機構、油圧針弁、浮標突に作動し、ガススタンクは気密の設計は厚が不揃二であるものであらず。

▽ガラスタンクは保護装置が
ること。

二、使用方法を
熟知し注意して
使用すること

▽燃料「ガソリン」は絶対に使
しないこと。ガソリンを混合
した油も用いないこと。（
式でもガソリンは用いない
こと）

▽使用「タンク」に油注して
ならない。注意の標識しな
いこと。注意し漏油の際直ち
に「止めよう」。

私共は、非常に苦しい財政の中より、必要とする

或は消防隊と一般勤務經費を確保し、市財政事務の節約を図つて事業を遂行してしまひながら、なお多額の金を使はす。

△使用法に關し、コロンのくさき取扱いに安全は置かれ及び方法が如何なる、故に意見した際は選擇が完了するまで使用しないこと。

▽使用中はその場を離れなす監視視し、調節の留聲であつて事故が絶対にないとは斷言できない。

では、火災爆發の危険は先づしも、該あつた原因に對しては、消滅に至る。

市民キス釣り大会

主催	平塚市教育委員会、平塚鐵鑛	市営フェール前
金		一、参加資格
期日	七月四日（日）午前八時より	平塚市内在住、在学、在職、
雨天の場合同七月十二日（日）		二、参加料
場所		不募
平塚海岸		規定の申込書に記入の上、
集合場所		まてに市教育委員会全体会
		場屋、岩戸島、奥津倉島、

身体障害者の皆さんへ

国立身体障害者
 更生指導所入所生募集
 身体障害者自ら進んでその障害を克服し、すみやかに社会経済活動に参加することを出来るよう、更生の指導をするための施設に、障害者を入所を希望される方々を募集せしめ、入所して下さる。

三、入所期間
 一ケ年（但、事情によつて延長するものあり）。

母子福祉資金

の貸付

新聞、ラジオでも時々報道される、事業継続資金、五、修業資金、六、修学資金、七、修業資金、御相談し、方には市役所學摩に、当該家庭のよりよき相談に、母子相談が居ります。貸付を以て、いろいろの相談に居ります。

6月の
平塚競輪

25日(金)
26日(土)
27日(日)
29日(火)
30日(水)
7月
1日(木)

7月の平塚競輪

10日 11日 12日 14日 15日 16日
(土) (日) (月) (水) (木) (金)

事業所統計調査の実施

[illegible]

昭和二十九年

市民税について

昭和廿四年市民税は六月第一期の徴金書がせられましたが本年度は県民税制に創設された市民税と同時に納入して頂くことになりました。しかし県民税と言ふ税金がへたと言つても的的には何の損益もありません。従来

の市民税の一部を削りそれと県民税とに代つてあります。納税者の方の中には、ともし付く税といふ響きが遠いといふものですが、決して増徴ではない左に例を上げ説明致します。

土地建物の部

類 別	土 地 坪 數	土 地 價 格	建 物 坪 數	建 物 價 格
行 政 財 產	106,390.58	93,751,522	14,466.35	279,567,462
企 業 財 產	24,265.14	9,706,056	1.6 9.94	33,781,256
合 計	190,655.72	103,457,578	16,086.29	313,348,618

(表 22)

種 別	基 本 財 產	一 般 財 產	企 業 財 產
証 券	—	1,366,000	—
金 員	—	—	—
合 計	—	1,366,000	—

(表 23)

費 目		負 債 額
救護	育 兒 費	23,091,718円
障 害 業	洛 費	4,391,927
社 会 び	施 設 費	11,649,279
災 害 復 舊 費	旧 費	11,146,507
戦 災 復 舊 費	旧 費	4,562,077
企 業 復 舊 費	(繰 入)	25,000,000
合 計		120,899,609

(表 24)

月 別	一 般 會 計			特 別 會 計		
	借 入 額	償 還 額	差引現在額	借 入 額	償 還 額	差引現在額
4月～9月	53,000,000	35,000,000	18,000,000	21,000,000	14,000,000	7,000,000
10月	10,000,000	18,000,000	△ 8,000,000	7,000,000	14,000,000	△ 7,000,000
11月	5,000,000	—	5,000,000	—	—	—
12月	40,000,000	5,000,000	35,000,000	20,000,000	—	20,000,000
1月	15,000,000	35,000,000	△ 15,000,000	20,000,000	20,000,000	—
2月	5,000,000	—	5,000,000	7,000,000	20,000,000	△ 13,000,000
3月	—	—	—	—	7,000,000	△ 7,000,000
10月～3月 小計	75,000,000	53,000,000	22,000,000	54,000,000	61,000,000	△ 7,000,000
合 計	123,000,000	88,000,000	40,000,000	75,000,000	75,000,000	0